

## 関西民放クラブだより

### 関西民放クラブ同好会

#### 「コールまかーな」の魅力

広田 基(YTV)

平成19年4月、年2回発行の会報『同好会だより』の編集に携わっていた私は、10月に行われる「コールまかーな」創立15周年記念演奏会の練習風景取材して欲しい旨、依頼されました。

「まかーな」の練習場に行くと各パートの旋律が聞こえてきます。そつと中に入ると、指揮者、辻義彦さん(OBC)のダメ出しで、徐々に美しいハーモニーになっていくのです。

山田芳雄さん(OBC)と梅井丈治さん(KTV)が記念演奏会の構成のあらましを説明します。練習はまずまず熱気を帯びて、目標に向かってみんな一つになって完成へと努力する団員の姿。それがいかに大切で楽しいことかを実感しました。

そのうち高田日出子さん(WBC)が、私の前にドサーツと楽譜を持ってきます。「まかーな」の代表の岡本俊夫さん(OBC)も、私に取材を依頼した間島光代

さん(THK)も傍に来て「今日はこちらがとう。今から反省会に行く。これが一番大切」と言っている。この中華レストランに連れて行くのです。

その結果、私は恥ずかしげもなく「コールまかーな」創立15周年記念演奏会のメンバーの一員として参加することになったのです。

さて、「まかーな」に所属するとびっくりします。

まず、まるで会社のような1月に総会があり役員の改選、会則の変更、本年の予定の確認などがあります。

平成25年7月発行の『まかーなのなかま』(略称・まかなか)という素敵な会報があります。勿論「まかーな」のメンバーの原稿が中心ですが、事前に判っている練習の曲目やスケジュールの紹介なども入っていてすごく重宝。高梨欣也さん(MBS)の編集はA4・カラーで写真もキレイ。

平成26年7月で丸一年、24号となりましたので平均月2回の発行となりました。

メンバーは旅行が好きで泊りの

合宿練習と称して美味しい料理の食べられる京都・美山や、和歌山・白浜へ行くのが楽しみです。勿論、老人ホーム等への訪問も



です。

もうひとつ、それは関東民放クラブや東海民放クラブ等との交流です。平成20年の名古屋での東海民放クラブ創立20周年記念総会に東西の合唱団が招かれ私も参加しました。

また、関東民放クラブ合唱団創立10周年記念演奏会が平成23年東京王子の北とびあつじホールで開催、「まかーな」12名が参加、一緒に歌いました。

上の写真は、その時のもので、前列右端が私です。

「コールまかーな」創立15周年記念演奏会(平成19年)、20周年記念演奏会(平成24年)共に関東民放クラブ合唱団の方々が来阪され一緒に歌って頂きました。

そして今年4月に横浜で行なわれる「ゴールデンウエーブ in 横浜」に参加、関東民放クラブ合唱団と一緒に歌うことになっています。

そしてまた、2年後の平成29年は「コールまかーな」創立25周年記念に当たります。

関東民放クラブ、東海民放クラブを含めて大きな民放クラブの輪になればと期待しています。